



## 学校長ご挨拶

学校長 清水 一太



姫看の在校生及び卒業生の皆様、ご父兄の皆様いかがお過ごしでしょうか。唐突ですが、発達障害という言葉が聞かれたことはおありでしょうか？

と申しますのは、私は先日発達障害に関する講演会に参加し、カルチャーショックに陥りました。まず発達障害というと子供の時の話とお考えの方は、いらっしやいませんか。私がそうでした。

確かに小児科の外来では、小学校への入学に際して発達障害を持つ子供さんのご両親から相談を受けたり、実際に発達障害を持つ子供さんへの対応に悩んだという話は耳にします。

皆さん、発達障害について聞かれたことはおありと思いますが、脳の機能に関連した障害、いいえ特性といった方がいいかもしれません。一般的には薬物等の治療はせずに、適切な療育を行ったり、指導を行うことで症状を改善することができるのです。

復習です。発達障害には、主なものとして

- 1) ASD(対人関係の障害がみられるとともに、強いこだわりの症状を示す疾患です。アスペルガー症候群など)
- 2) ADHD(不注意と多動、衝動性を主な症状とする疾患です。)

などがありますが、今回は ASD についてお話しします。人口の1%位と言いますから、かなり多い病態です。

今回話題の成人の発達障害の場合、職場で問題となることが多いようです。発達障害は生まれつきのものであり、成人になってから発症するものではありません。しかしながら、本人の知的能力が平均以上に高い場合、社会人になるまでは重大な社会不適応に至らないことが多いようで、会社に就職してからの人間関係などにより、問題が生じるようです。

時に高いIQを持ち天才的な能力を発揮するのもASDであり、一方では「親密な付き合いが苦手、人と共感しない、冗談が通じない、会話が一方的である、融通が利かない」などの特性があります。周りにそんな方はいらっしやいませんか？

医療現場では、いろいろな方との出会いがあると思います。その出会いが有意義なものとなるよう、アンテナを立てて周りを見回して頂くようお願いいたします。成人の発達障害をお持ちの方が、職場での人間関係などで悩み、皆さんの病院や診療所に来られるかもしれません。そんな方が居られればお話をお聞きになって、先生と相談の上、専門の病院や施設に紹介してあげてください。その方の人生に光明が差すかもしれません。お願いいたします。

## 第14回 天姫祭を開催しました。10月26日(金)、27日(土)



文化祭1日目は学校内でのクラス発表を行いました。ダンスの披露や寸劇を交えたスライドの上映など6クラスそれぞれの個性が発揮され、笑いあり、涙ありの思い出に残る内容となりました。また、有志で結成されたメンバーのバンド演奏、ダンス、漫才コントもあり、大変盛り上がりました。

2日目は、学校を開放し、地域の方々や日頃お世話になっている方々にご来場いただきました。学生たちが企画・準備した、豚汁、わたがし、フランクフルトなどの模擬店や、赤ちゃん抱っこ、ハンドマッサージなどの看護体験を楽しんでいただきました。

今年度は従来からのユニセフ等の募金に併せ、西日本豪雨災害義援金の募金活動も実施しました。いただいた義援金は日本赤十字社を通じ、被災地へお届けさせていただきました。

雨上がりの肌寒い気候の中、502名の皆様にご来場いただきました。

ご来場くださった皆様、募金活動にご協力いただいた皆様に学生、教職員一同心よりお礼申し上げます。また外部より出店いただいたひまわりパン、かしの詩の皆様方、ユニセフ、献血・骨髄バンクの皆様方、ご協力ありがとうございました。

今年度の天姫祭テーマは、Be together as one～1つ1つステキ 集まればキセキ～でした。看護師という同じ夢を持つ仲間たちが、手を取り合って天姫祭を成功させたいという思い・お子様からお年寄りまでどの年代の方々にも楽しんで頂きたいという思いがありました。

会議や準備を重ね、委員やクラスメイト・先生方と試行錯誤しました。不安も多くありましたが、無事成功を納めることができました。

この度の経験を活かし、深まった団結力の元さらに学生同士で支え合い、高め合いながら学習・実習に精進していきたいです。

文化祭実行副委員長 鎌田 葵

## 関西看護学生研究大会に参加しました。10月31日(水)

関西看護学生研究大会が神戸文化ホールで開催され、本校の2年次生79名と発表者の梶原愛里さん(3年次)が参加しました。



看護研究を通して基礎看護学実習Ⅱでの学びを、文献・理論を用いて振り返りました。行った看護は患者さんにとってどうだったのか、なぜそう考えるのかを考察することで、質の向上に繋がり、より学びを深めることができました。関西看護研究大会では関西の看護学生が集まり、それぞれの学びを深めます。大勢の前での発表にはとても緊張しましたが数々の質問や講評を頂いて、私の学びが誰かの心に響いてくれていると感じることができました。私の理想とする看護師、「病気」だけでなく「人」を看られる看護師になれるよう、この経験を活かしていきます。

3年次 梶原愛里

## 実習を振り返って



今回の臨地実習で初めて患者さんに援助を行いました。援助を行うときは緊張と戸惑いがあり、教科書をもとに自分で考えた援助計画通りにはいかないことの方が多かったです。お湯の温度がすぐに下がってしまったり、拭くときの力加減はどのくらいが良いのかなど患者さんの安全・安楽を考えると何が正解であるのかすごく悩みました。また、日によって患者さんの体調も違うので臨機応変に対応する力も必要であることを学びました。今回の臨地実習を通して、実際に患者さんに援助して学んだことや課題を今後の学びに繋げていきたいと思います。

1年次 松尾知佳

総合実習ではチームの一員として初めて患者さんの複数受け持ちをし、知識・技術を統合した看護実践能力を高めることが出来ました。

シミュレーション演習では総合実習での学びを更に深めるものとなり、患者さんに看護を行う優先度を考えることや情報共有の必要性について再確認することができました。またその先には患者さんに最良な看護を提供することを第一に考え、病院・病棟・医療者全員で患者さんを守っていこうという医療人になる思いが確立していくものになりました。今回の経験を日々心にとめ、自身の理想とする看護である、対象者がその人らしく生きる為の希望に添った看護を行うことができるよう、学びを糧に精進していきたいです。

3年次 岩崎充寿



基礎看護学実習Ⅱで私は70歳代の女性の患者さんを受け持ちました。発語が少なかったのでコミュニケーションの取り方で最初は悩みました。患者さんが辛そうにしているときに、私には苦痛を取り除くことはできないけど辛い気持ちに寄り添うことはできると思い「辛いですね」などと声掛けを行いながら、私は手を握ったりしました。日々患者さんにケアを通して接するうちに患者さんの状態がよくなり発語が増えてきたときには「もうちょっとおって」や「ありがとう」という言葉を言ってもらえるようになり私の存在を認識してくれたこと、患者さんのことを考えて毎日の声掛けやタッチングでのコミュニケーションの成果が形となって表れたことが嬉しかったです。今後の領域別実習も患者さんと良好な関係性を築けることができるように頑張っていきたいです。

2年次 入江麻由

## 看護師を目指して頑張っている皆さんへ

数多くある職業選択肢の中から貴方方が、「看護」に関心や興味をもって下さったことを、一人の先輩としてとても嬉しく思います。きっと貴方方は、心優しく人間が大好きで、誰かの何かの役に立ちたい、無償の愛をお持ちの方だろうと確信しています。

看護師免許をとり社会に貢献するために、専門的な知識・技術・態度を日々学び時には苦悩している方もおられることでしょう。

今置かれている状況は様々でしょうが、貴方が一步を踏み出そうとしている看護の道は、これからの時代にとって極めて意義のある仕事に通じる道であることは間違いありません。

団塊世代が69歳から72歳を超え、2016年には老年人口の割合が27.3%となっており4人に一人が高齢者です。今後ますます少子多死時代に突入していることも関係し、「終活」などという耳慣れない言葉がいつの間にかブームになりました。

国は「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来る」ことを目指して地域包括的支援・サービスの構築を積極的に進めています。言葉としてはその通りなのですが、老々世帯や独居世帯が増えている現実を見ても自宅で最期を迎えることは難しいように思います。

これからの看護師に求められる資質としては、他職種として協働し、地域包括ケアシステムの中で、その役割を果たせる看護師が求められています。社会情勢を見据え自分に謙虚に他者に謙虚に、自己内省できる看護師になっていただきたいと願います。



副学校長 白井 澄子

### 平成30年度兵庫県専任教員養成講習会を受講して

私は看護基礎教育を学ぶため、4月から8か月間にわたる専任教員養成講習会を受講しました。教員が学生とともに成長することであり、教員は学生の伴走者、道を示す者です。自己の看護観を見つめ直し、カリキュラムの構築や授業案の作成を行っていく中、学校の理念や教育目標の重要性、また教材観、学生観、指導観の考察が不可欠であることが理解できました。教員がチームであることも実感しました。学生が看護を考え実践できるように、支援していきたいと思えます。



教務課 高谷 恵子

### 「なんでもご意見をお聞かせください」BOXを設置しました。

看護学校は、「看護師になることを夢見て入学してきた皆さんが看護師になれるよう応援する教育の場」です。多様な価値観を持つ現代の若者に対し、私達教員は同じ看護を目指す仲間として、少しでも心を通わせることができるよう、また看護基礎教育の質の向上につなげることを目的とし、11月より意見箱をそれぞれ女子・男子の更衣室に設置しました。

早速第1号となる貴重なご意見がありました。勇気のある行動、本当にありがとうございました。これからもこのような皆さんの生の貴重なご意見をお聞かせください。そして、更に地域に誇れる学び舎として本校の教育の質を保障できるよう職員一丸となり一層努力をしてみたいと思います。また、学生と共に成長できる力を合わせていきましょう。

教務主任 奥野 孝子



## 看護力アップセミナー開催のご報告

看護力アップセミナーは、医療現場で活躍されている看護師のスキルアップ、看護学生の国家試験を目指した学外研修、さらに休職中の看護師の方の職場復帰のきっかけづくりを目的として開催しています。

3日間のセミナーを1期とし、全2期を開催しました。

今年度は「神経・循環器系に障害のある患者の臨床判断能力育成セミナー」をテーマとし、本校と姫路メデイカルシュミレーションセンター ひめマリアにて実施しました。

〔第Ⅰ期〕 7月14日(土)、21日(土)、28日(土)

第Ⅰ期は「脳神経」に焦点を当てた内容で、17名の方にご参加いただきました。参加者からは「認知症患者の看護や退院支援まで学べたのでよかった(7/14)」、7/21のグループワークについては「世代の違うナースと交流できて勉強になった」「色々な意見を出し合えた」等の感想をいただきました。多くの方が脳神経に対して「難しい」、「苦手」意識をお持ちだったようですが、受講を終えて「わかりやすかった(7/28)」「臨床判断に役立つ内容だった(7/28)」等の感想もいただきました。



(当初、1日目の講座は7月7日を予定していましたが、大雨のため28日に振り替えました)

〔第Ⅱ期〕 11月24日(土)、12月1日(土)、8日(土)

第Ⅱ期は「循環器」に焦点を当てた内容で、31名の方にご参加いただきました。参加者からは「解剖生理の大切さを学んだ(11/24)」「臨床で活かすことができると感じた(12/1)」等、受講を通して実践に向けての意欲的な感想を多数いただきました。また12/8のシュミレーターを使った心音聴取については、「正常音と異常音の判別を知るいい機会だった」「臨床現場目線のフィジカルアセスメントのコツも多く教えてくださり、今後に活かしていきたいと思った」等の感想をいただき、大変好評でした。



## 第13回 看護師生涯教育研修会開催のご報告

看護師生涯教育研修会の今年度の年間テーマは、～その人らしい生活をとりもどすリハビリテーションと看護～「脳卒中から緩和ケアまでのリハビリテーションと看護」です。

8月4日(土)、本校体育館兼講堂で、「希望に向かって寄り添うリハビリテーションと看護」～かわりが対象者を変える、生活を変える～をテーマに、稲川利光先生(NTT 東日本関東病院リハビリテーション科部長)にご講演いただきました。

参加者からは、「1つ1つエピソードがあり、とても説得力がある話でした」「リハビリの原点を学ばせていただきました」等の感想をいただきました。

猛暑の中、41名の方にご参加いただきました。皆様ありがとうございました。

第14回 看護師生涯教育研修会は下記のとおり実施いたします。卒業生の皆様にはこの研修会が同窓生との交流の場としても利用していただけたらと考えております。お知り合いの看護師の方々をお誘いの上、是非ご参加ください。



### 第14回 看護師生涯教育研修会のご案内

【日時】平成31年2月23日(土) 午後2時30分～4時30分

【場所】一般社団法人姫路市医師会館 5階大ホール

【テーマ】講演1「地域包括ケア時代の看取り」～その人らしく生きることを支援し、QOLを高めることについて～  
講演2「高齢者のフレイルとリハビリテーション」～ロコモティブシンドロームについて～

【お申込】本校ホームページの申込フォームより送信、または同封チラシ裏面申込書をFAXでお送りください。

【お問い合わせ】電話：079-298-1241 FAX：079-298-6876

ご覧になりましたか？～姫路ケーブルテレビで本校を紹介～



姫路ケーブルテレビの番組『さわやか健康』で、「あなたの「優しさ」を確かな技術に」（平成30年10月15日～21日まで放映）と題し、本校が紹介されました。

奥野教員が出演し、学校の教育方針、学校概要（学生定員、修業年限、カリキュラムや就職状況等）について説明しました。

また、在校生の3名が本校の魅力や学校生活、将来の夢や入学希望者へのメッセージなどを熱く語っています。

You Tube や本校ホームページからも動画をご覧いただくことができます。是非ご視聴ください。

## 職員紹介

こんにちは。教務課の日和麻貴です。

平成30年4月より、本校で専任教員としてお世話になっています。

私は、臨床指導者をしていた頃から、専門学校の教員に憧れ、当学校で学生さんと共に学び成長していきたいと思ってきました。

現在の医療と看護教育を学び、日々自己研鑽に努め、学生さんの支援が出来たらと思います。

教員1年目ですが、よろしくお願いします。



マイブームは、  
タイ雑貨をあつめる  
こと。  
Thaiに行きタ～イ 🎵



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。平成最後の「HIMEKAN」が完成いたしました。今回も多くの方々のご協力のもと、発行に至ることができました。代表して原稿を作成してくれた在校生のみなさんの文章を読んでいると、学校行事や研究発表、実習などを通してしっかりと看護の道を歩み、広い視野をもって物事を考える力を養っているなあと頼もしく感じました。原稿を書ってくれたみなさん、ありがとうございました。

誌面でも取り上げた姫路ケーブルテレビの番組の中で、看護力アップセミナー、看護師生涯教育研修会についても言及しています。卒業後も看護職のスキルアップを継続して支援する体制が本校にはあります。卒業生のみなさんにもこのような学習の機会を積極的に活用していただけたらと思います。

最後になりましたが、誌面作成にご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 掲載記事募集

この「HIMEKAN」に掲載する記事を募集しています。卒業生のみなさんにお知らせしたいこと、伝えたいこと、がんばっていること等なんでもかまいません。様式は問いません。掲載内容と名前、住所、連絡先を記入して、学校まで送付してください。もちろん、持ち込みもOKです。



●●発刊元●●

姫路市医師会看護専門学校  
学校事務課

〒670-0074

姫路市御立西五丁目6番22号

Tel 079-298-1241 (代)

Fax 079-298-6876

ホームページ <http://himeji-kango.jp>